

1. 化学品及び会社情報

製品特定名

化学品の名称 : Octane Plus
製品コード : 20879 - 150 mL

推奨用途及び使用制限

推奨用途 : 添加剤

会社情報

LIQUI MOLY GmbH
D-89081 ドイツ Ulm-Lehr
Jerg-Wieland-Str. 4
T (+49) 0731-1420-0 - F (+49) 0731-1420-88
SDS 担当の有資格者の電子メールアドレス: sds@gbk-ingelheim.de

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +49 (0) 6132 / 84463 (GBK GmbH, Ingelheim)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	引火性液体	区分 4
健康有害性	発がん性	区分 2
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (肺)
	吸引性呼吸器有害性	区分 1
環境有害性	水生環境 (急性)	区分 2
	水生環境 (慢性)	区分 2

絵表示 (GHS-JP)



GHS08



GHS09

注意喚起語 (GHS-JP) : 危険

含有 : 炭化水素、C10-C13、n-アルカン、イソアルカン、環状結合、< 2 %芳香族化合物; トリカルボニル (メチルシクロペンタジエニル) マンガン; Fuels, jet aircraft, coal solvent extn., hydrocracked hydrogenated; 1, 2, 4-trimethylbenzene

危険有害性情報 (GHS-JP) : 可燃性液体 (H227)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)
発がんのおそれの疑い (H351)
臓器の障害のおそれ (肺) (H371)
長期継続的影響によって水生生物に毒性 (H411)

注意書き (GHS-JP)

安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。 (P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 (P202)
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。 (P210)
ミスト、スプレー、蒸気を吸入しないこと。 (P260)

	<p>取扱い後はよく を洗うこと。(P264)</p> <p>この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)</p> <p>環境への放出を避けること。(P273)</p> <p>保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)</p>
応急措置	<p>: 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)</p> <p>ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。(P308+P311)</p> <p>ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。(P308+P313)</p> <p>飲み込んだ場合、吐かせないこと。(P331)</p> <p>火災の場合: 消火するために乾式消火粉、泡を使用すること。(P370+P378)</p> <p>漏出物を回収すること。(P391)</p>
保管	<p>: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。(P403+P235)</p> <p>施錠して保管すること。(P405)</p>
廃棄	<p>: 内容物/容器を地域および国の規則に従ってに廃棄すること。(P501)</p>

3. 組成及び成分情報

製品情報 : 混合物

名前	濃度	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
炭化水素、C10-C13、n-アルカン、イソアルカン、環状結合、< 2 %芳香族化合物	>= 80%				64742-48-9
トリカルボニル (メチルシクロペンタジエニル) マンガン	1 - 10%	C9H7MnO3	(3)-2558		12108-13-3
Fuels, jet aircraft, coal solvent extn., hydrocracked hydrogenated	1 - 5%				94114-58-6
1,2,4-trimethylbenzene	1 - 5%	C9H12	(3)-7, (3)-3427		95-63-6

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	: 直ちに医師の診察を受ける。 気分が悪い場合は医師の診察を受ける(可能であればラベルを見せる)。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 無理に吐かせてはいけない。 直ちに医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 飲み込んだ場合 : 肺水腫のリスク。

その他の医学的アドバイスまたは治療

医師に対する特別注意事項 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適した消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : 多量のウォータージェット
- 火災危険性 : 引火性液体及び蒸気。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 炭素酸化物(CO、CO2)、
酸化窒素、
炭化水素、
有毒熱分解製品、
引火性および爆発性の蒸気-空気混合物を形成することがある。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

非緊急対応者

- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。
裸火、火花禁止、禁煙。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
皮膚、目、あるいは衣服との接触を避ける。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

封じ込め及び浄化方法及び機材

- 封じ込め方法 : 漏出物を回収すること。
- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
容器を接地すること/アースをとること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。
防爆型装置を使用する。
個人用保護具を着用する。
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
眼、皮膚、衣類につけないこと。

衛生対策 : 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

技術的対策 : 容器を接地すること/アースをとること。

混触禁止製品 : 酸化剤。

熱及び発火源 : 高温、直射日光を避ける。

包装材に関する特別な規則 : 他の容器に移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

手の保護具 : 柔軟クリームを塗る。この推奨は実験室条件下における化学的適合性および EN 374 準拠テストにのみ基づく。製造業者が指定する浸透性と浸透時間を遵守する。手袋素材は破過時間、透過速度、劣化等を考慮して選択する。

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
適切な保護手袋。	バイトン製。フルオロエラストマー (FKM)。	6 (> 480 分)。	0,4		EN 374。

眼の保護具 : サイドシールド付き安全メガネ。密着性の高い安全ゴーグル。安全メガネ。

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
フィルター付きマスク。	タイプ A - 高沸点 (>65°C) の有機化合物。タイプ P3。	空気中の濃度 > 暴露限界の場合。	EN 14387。

環境への暴露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态 : 液体
色 : 透明色、黄色
臭い : 特有の臭気
蒸発速度 (酢酸ブチル = 1) : 非該当
引火点 : > 61 °C
燃焼性 (固体、気体) : 非該当
爆発範囲 (上限、下限) (g/m³) : 非該当
密度 : 0.818 g/ml
溶解度 : 不溶性。
爆発特性 : 物質は爆発性ではない。
爆発範囲 (上限、下限) (g/m³) : 非該当
動粘性率 : < 20 mm²/s

10. 安定性及び反応性

反応性	: 引火性液体及び蒸気。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は検出されていない。
避けるべき条件	: 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
混触危険物質	: 強力な酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 区分外。
急性毒性（経皮）	: 区分外。
急性毒性（吸入）	: 区分外。

トリカルボニル（メチルシクロペンタジエニル）マンガン（12108-13-3）	
LD50 経口	39.9 mg/kg
LD50 経皮	212.7 mg/kg
LC50 吸入 ラット（蒸気 - mg/l/4h）	0.08 mg/l/4h

1,2,4-trimethylbenzene（95-63-6）	
LD50 経口	5000 mg/kg

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分外。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分外。
呼吸器感受性	: 区分外。
皮膚感受性	: 区分外。
生殖細胞変異原性	: 区分外。
発がん性	: 発がんのおそれの疑い。
生殖毒性	: 区分外。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 臓器の障害のおそれ（肺）。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分外。
吸引性呼吸器有害性	: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

12. 環境影響情報

生態系 - 全般	: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。
水生環境(急性)	: 水生生物に毒性。
水生環境(慢性)	: 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

炭化水素、C10-C13、n-アルカン、イソアルカン、環状結合、< 2 %芳香族化合物（64742-48-9）	
LC50 魚 1	2200 mg/l（暴露期間：96時間 - 種：ファットヘッドミノー [静止状態]）

トリカルボニル（メチルシクロペンタジエニル）マンガン（12108-13-3）	
LC50 魚 1	0.2 mg/l

1,2,4-trimethylbenzene（95-63-6）	
EC50 ミジンコ 1	6.14 mg/l

Octane Plus	
残留性・分解性	追加情報なし

トリカルボニル（メチルシクロペンタジエニル）マンガン（12108-13-3）	
急速分解性でない	

1, 2, 4-trimethylbenzene (95-63-6)

急速分解性でない

Octane Plus

生体蓄積性 追加情報なし

Octane Plus

土壌中の移動性 追加情報なし

オゾン層への有害性 : 区分外。
 その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を破棄する。
 汚染容器及び包装 : 容器内の残余物は除去する。
 廃棄または焼却処分よりリサイクルが好まれる。
 洗浄不可能な包装は内容物と同様に廃棄すること。

追加情報

推奨下水処理 : 推奨されない。
 追加情報 : 引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)	内陸水路輸送 (ADN)	鉄道輸送 (RID)
国連番号				
3082	3082	3082	3082	3082
国連正式品名				
環境有害物質 (液体)	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (Tricarbonyl(methylc yclopentadienyl)mang anese)	Environmentally hazardous substance, liquid, n. o. s. (トリ カルボニル (メチルシ クロペンタジエニル) マンガン)	環境有害物質 (液体) (トリカルボニル (メ チルシクロペンタジエ ニル) マンガン)	環境有害物質 (液体) (トリカルボニル (メ チルシクロペンタジエ ニル) マンガン)
輸送危険物分類				
9	9	9	9	9
容器等級				
III	III	III	III	III
環境有害性				
環境有害性 : はい	環境有害性 : はい 海洋汚染物質 : はい	環境有害性 : はい	環境有害性 : はい	環境有害性 : はい

海洋汚染物質 : はい
 緊急時応急措置指針番号 : 171

国内規制

- 海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。
 航空規制情報 : 航空法の規定に従う。
 その他の情報 : 補足情報なし。

15. 適用法令

- 化審法 : 優先評価化学物質 (法第2条第5項)
 労働安全衛生法 : 特定化学物質第2類物質、管理第2類物質 (特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2, 5号)
 第3種有機溶剤等 (施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第5号)
 作業環境評価基準 (法第65条の2第1項)
 危険物・引火性の物 (施行令別表第1第4号)
 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
 石油ナフサ (政令番号: 330) (99.9%以上)
 トリメチルベンゼン (政令番号: 404) (5%未満)
 2-メチルシクロペンタジエニルトリカルボニルマンガン (政令番号: 577) (1 ~ 10%)
 水質汚濁防止法 : 指定物質 (法第2条第4項、施行令第3条の3)
 消防法 : 第四類引火性液体 第二石油類 危険等級 III 炭化水素系添加剤
 大気汚染防止法 : 有害大気汚染物質、優先取組物質 (中央環境審議会第9次答申)
 揮発性有機化合物 法第2条第4項 (平成14年度VOC排出に関する調査報告)
 海洋汚染防止法 : 有害液体物質 (X類物質) (施行令別表第1)
 船舶安全法 : 有害性物質 (危規則第2, 3条危険物告示別表第1)
 航空法 : その他の有害物質 (施行規則第194条危険物告示別表第1)
 道路法 : 車両の通行の制限 (施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
 水道法 : 有害物質 (法第4条第2項)、水質基準 (平15省令101号)
 下水道法 : 水質基準物質 (法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) : 第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
 1, 2, 4-トリメチルベンゼン (政令番号: 296) (2.5%)
 マンガン及びその化合物 (政令番号: 412) Mangan(1.8%)
 労働基準法 : 疾病化学物質 (法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)

16. その他の情報**改訂情報**

Section	変更アイテム	変更	コメント
	優先日。	変更。	
	改訂日。	変更。	
	消防法。	変更。	

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。